

コード	50201
作成年度	25年度

基本事業評価表

基本事業名称	生涯学習機会の拡大
--------	-----------

総合計画の位置付け	
政策名称	しまの誇り・文化の育成
施策名称	生涯学習の充実

課コード	125	関係課名
主管課名	生涯学習課	

基本事業の目的

町内の図書館ネットワークを活用し、住民が「いつでも、どこでも、だれでも」読書活動ができる環境の整備と、住民の読書活動の推進を図ることを目的とする。

基本事業の成果

成果指標名称 1	町民一人当たり図書貸出冊数	成果指標名称 2	図書館利用者数（移動図書館車を含む）
成果指標の積算根拠	計画した町民一人当たり図書貸出冊数	成果指標の積算根拠	前年度図書館利用者数
目標達成年度	平成25年度	目標達成年度	平成25年度
目標達成数値	毎年8冊	目標達成数値	33,385人

年		度		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
成果指標 1	目標 A	単位	冊		8	8	8	8
	実績 B		冊		6.8	6.9	6.7	
	達成率 B/A		%		85.0	86.2	83.7	
成果指標 2	目標 A	単位	人	39,061	36,557	35,797	36,088	33,385
	実績 B		人	36,557	35,797	36,088	33,385	
	達成率 B/A		%	93.5	97.9	100.8	92.5	

1次評価	現状	地域イントラを利用しての図書館システムが構築され、移動図書館の活用により、住民への読書環境の整備がされてきた。町内幼稚園・小学校・中学校へのシステム導入も計画のまま、学校等の統廃合、分館の在り方など、再編検討中の段階で未だに進展していない。
	課題	町内5図書館のネットワークを生かした、子どもの読書環境の充実と読書推進のため、人材育成を押し進める必要がある。
	改善	学校へのシステム導入が困難な中、移動図書館車を効率よく活用して学校施設への訪問回数を増やしたり、町立図書館での図書ボランティアの育成を図り、読書環境の充実を目指す。

2次評価	住民のニーズに対応した生涯学習プログラムを開発し、住民に生涯学習の選択の幅を広げるなどの方策を検討すること。また、図書館ネットワークの効率性を追求して利便性を高め、図書資源の有効活用を図っていくこと。
------	--

3次評価 住民等の意見	
----------------	--

町の対応	
------	--

※3次評価は、住民等の意見があった場合にのみ、再度公表するものとする。

◆基本事業を構成する評価対象事業◆

番号	評価コード	評価対象事業名称	担当課	平成24年度 直接事業費	評価の方向性
1	502010201	移動図書館車活用事業	生涯学習課	567千円	(途中) このまま事業を継続
2	502010202	子ども読書活動支援事業	生涯学習課	-	(途中) 事業内容を見直して継続
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
基本事業を構成する評価対象事業の合計事業費				567千円	